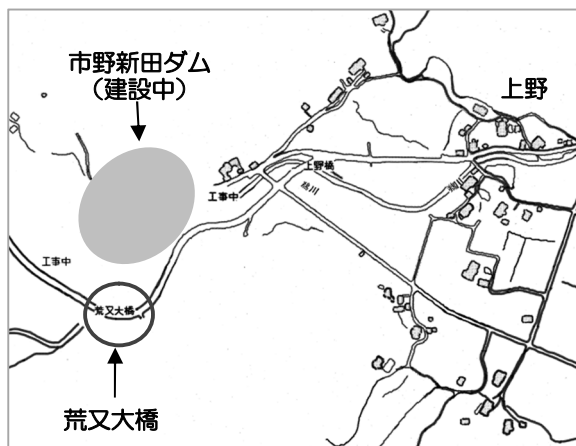


# 「柏崎の橋」

## 6 1 荒又大橋（女谷）

荒又大橋は、鵜川地区女谷市野新田地内、市道21-132号の一部として鵜川に架かる、長さ21m、幅22.7mの橋である。

この地域は、鵜川下流域の農業用水不足を補うことを目的とする市野新田ダムを建設中である。このダム建設により、<sup>かみの</sup>上野地区と市野新田を結ぶ生活道路である市道が一部水没するため、平成21年から市道の付け替え工事が行われた。荒又大橋は、この付け替え市道（延長1088.7m、全幅8.75m）工事により新設されたものである。



荒又大橋（柏崎市GISベースマップより）

橋は幅に対して高さがあり、コンクリート橋台にすると大変な重量になるため、盛土内にアーチ形の水路を設ける「アーチカルバート」という形式が採用された。

半径15.8m、幅1.25m、厚さ0.35mのコンクリート製半円を37本並べて、川をトンネル状に覆い、土の崩壊を防止する壁を周囲に築いて土を盛っているが、地形やルートの関係から、道路が橋を斜めに通るようになっている。そのため、道路の両側に三角形のスペースができて

市野新田ダム建設のための河川流水の利用について長年の交渉の末、平成21年7月に地元水利組合と同意に至り、秋から市道付け替え工事を開始、同年11月から架橋工事を開始した。



荒又大橋

平成24年10月7日、付け替え市道供用開始にともなう橋の渡り初めが、市野新田ダム対策協議会と鵜川地区協議会主催で行われた。式には、地元住民や北陸農政局、市長、関係機関など約70名が出席し、参加者が見守る中、くす玉とテープカットで開通を祝った。続いて市野新田と上野の長寿夫婦を先頭に渡り初めを行い、出席者は橋からの眺めを楽しんだ。

橋は鵜川に架かっているが、地域の人々はこの川を「荒又川」と呼んでいる。橋の名は、この呼び名にちなんで地域の人々によって付けられたという。橋の銘板の揮毫は市長によるものである。

現在建設中の市野新田ダムが完成時した際には、橋からダム湖の眺めが楽しめるようになるだろう。

### ●参考にした本

『市野新田』（224 頁） 星野忠 編  
柏崎日報 平成21年7月、平成24年10月